



理系大学生のための

太陽研究最前線体験ツアー

2012年8月27～30日

名古屋大学太陽地球環境研究所

名古屋大学理学研究科

東京大学理学系研究科

京都大学大学院理学研究科附属天文台

宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部

国立天文台

ツアーの目的

- 世界の最先端を走る日本の太陽研究の実態を理解してもらい、今後の勉学・研究の糧にさせていただく。
- 大学院への進学、卒業研究の選択のために参考にしよう。
- 大学を超えた参加者間の情報交換の場として利用しよう。
- 最前線の研究者と一緒に過ごし、“とにかく太陽研究は楽しい！”ということを理解してもらおう。

スケジュール

■ 8月27日(月) 名古屋大学

11:00 ツアー全体の概要と参加者の自己紹介
 12:00 写真撮影、昼食
13:00「太陽物理学入門」横山央明(東大)
14:00「太陽風の物理」鈴木健(名大)
 休憩
15:00「宇宙天気と宇宙気候」草野完也(名大)
 15:45 質問コーナー、全体懇談
 17:00 名大出発、SAで夕食
 22:00 飛騨天文台到着、宿泊

■ 8月28日(火) 飛騨天文台

午前 講義
 「太陽を調べる光の目」 一本(京大)
 「地上太陽観測と宇宙天気」 上野(京大)
 午後 見学、観測実習
 (天候次第で、講義と時間は入れ替え)
 宿泊 飛騨天文台

■ 8月29日(水) 野辺山観測所

8:30 飛騨天文台発、野辺山観測所へ移動

13:00 野辺山着、昼食
 午後 講義、見学
 「電波で見る太陽」 下条(国立天文台)
 観測所見学 柴崎(国立天文台)
 「太陽フレアにおける粒子加速」 増田(名大)

18:00 夕食
 宿泊 野辺山観測所

■ 8月30日(木) 国立天文台

8:30 野辺山観測所発、国立天文台三鷹キャンパスへ移動

11:30 三鷹着、イントロ&昼食
 午後 講義、見学
 「太陽観測衛星「ひので」」 清水(JAXA)
 「日震学入門」 関井(国立天文台)
 「次期太陽観測衛星SOLAR-C」 原(国立天文台)

懇談会&アンケート



注意事項

- 各観測所滞在中は担当教員の指示にそれぞれ従ってください。
- 具合が悪くなった場合は、各観測所の職員または添乗者へすぐに申し出てください。
- 全行程、名大大学院生の宿谷(しゅくや)さんがバスに添乗します。
- 費用(6,200円の予定)は飛騨天文台でお支払いください。
- 本日配布した名札はツアー終了まで利用します。なくさずに持ち歩いてください。